

変化するマレーシアとオラン・アスリ

デジタル画像を通じたフィールドとの対話



2023年2月23日（木祝） 5:00-7:30pm

開催: Zoom

登録: <https://00m.in/oqnv1>

言語: 日本語, 英語, マレー語



Photo: Jefree Salim

共催 アジア・アフリカ言語文化研究所 (AA研) 基幹研究人類学「社会性の人類的探求」
マラヤ大学 マレーシア先住民研究センター ほか



JSPS KAKENHI Grant No.
20H04432 and 19K13461

変化するマレーシアとオラン・アスリ

デジタル画像を通じたフィールドとの対話

2023年2月23日（木祝） 5:00-7:30pm

(Zoom開催)

登録: <https://00m.in/oqnv1>

言語: 日本語, 英語, マレー語
(オンライン同時/逐次通訳)

プログラム

- 5:00 河合文 (AA研, 東京外国語大学) 開会の辞: マレーシアの変化とオラン・アスリ
- 5:05 小谷真吾 (千葉大学)
タマンヌガラ周辺のオラン・アスリ定住村落の人びととその変化
- 5:15 須田一弘 (北海学園大学)
トレンガヌ州スンガイ・サヤップの経済活動
- 5:30 口蔵幸雄 (岐阜大学名誉教授)
トレンガヌに定住したスマッ・ブリ集団の経済活動 (1978-1979年を中心に)
- 5:45 Juli Edo (CMIS, マラヤ大学)
スマイの土地権の変化: あるひとつのエスノヒストリー
- 6:00 Lipah Anjang (スマイ女性)
女性の役割のいま昔
— 質疑応答・休憩 —
- 6:25 Jefree Salim (スラター写真家)
スラター: ジョホール州の海の民
- 6:40 信田敏宏 (国立民族学博物館)
ヌグリ・スンビラン州のトゥムアンにとっての転換点
- 6:50 Shereen Ajani (マラヤ大学)
ブキットランジャンのトゥムアン: 開発後の22年
- 7:00 Rusaslina Idrus (CMIS, マラヤ大学)
土地権のための映像民族誌
— 質疑応答・議論 —
- 7:20 河合文 (AA研, 東京外国語大学) 閉会の辞



変化するマレーシアとオラン・アスリ

デジタル画像を通じたフィールドとの対話

「オラン・アスリ(Orang Asli)」はマレーシア半島部の先住民の総称です。
海の民、農耕民、 獵採集民と多様な18集団が含まれ、その暮らしは様々です。

—しかし、マレーシアの急速な発展の下

オラン・アスリの多くが大きな変化を経験してきました。

2023年2月23日 (木祝)

5:00-7:30pm

—Zoom開催—

本シンポジウムでは

オラン・アスリの人々、マレーシアの研究者、日本の研究者が集まり
写真を通してオラン・アスリの暮らしの変化について語ります。



登録: <https://00m.in/oqnv1>
言語: 日本語, 英語, マレー語
(オンライン同時/逐次通訳)

Photo: Jefree Salim